



## 校長室だより No.4



### お蚕様がやってきた！！



5月、白峰保育園に伺った際、保育園で「お蚕様」を育てることを知り、白峰小学校でも是非お世話したいと考え、尾田園長先生にお願いして「お蚕様」を少し分けていただきました。

ほとんどの子どもたちが保育園時代に「お蚕様」のお世話を経験しており、6月9日に校長室前でお披露目したときには「お蚕様や〜」と歓声を上げて集まってきました。中には、昨年度の読書感想文「お蚕様」の本で書いた児童もあり、お蚕様の様子を見ては、「この本のここにお蚕様の食べる葉っぱのことが書いてあるよ」など、下学年に教える姿も見られました。また、「校長先生、桑の葉っぱ一緒に採りにいきたいです。」と言ってくれたり、「校長先生、早く来てください。糸をはいているお蚕様がいます。」と知らせてくれたり、一緒に桑の葉をあげたりと私以上にお蚕様の様子に興味を持ち、一生懸命お世話をしてくれました。

初めは怖がって見ているだけの子どももいましたが、周りの様子を見ながらツツツとさわり始め、そのうち掌にのせて「校長先生、見て。こんなに大きくなったよ。」と教えてくれるようになりました。繭を作り始めた時にも「一生懸命つくってる。」「頭、こんなふうに動かしてよ。」など、その様子に見入っていました。いよいよ繭になったときには「きれい！」と感嘆の声をもらしていました。



「牛首紬」は県指定無形文化財や国指定の伝統工芸品等、各種の指定を受けているそうです。その歴史は長く、平安時代末期から現在まで、ここ白峰で大切に受け継がれてきた伝統ある織物です。その織物を支えている1つが「お蚕様」であり、「お蚕様」を慈しみ大事に思う気持ちが、牛首紬をはじめとした白峰の様々な伝統を誇りに思う気持ちや大切に守っていかうとする気持ちにつながるのではないのでしょうか。そんな子どもたちの思いが一つ一つ積み重なって、ふるさと白峰を愛する気持ちが育まれていくように思います。

これからも地域のすばらしさ（人・もの・こと）にふれる機会を積極的に設けていきたいと考えています。学校からの依頼がありましたときには、保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。



### 何てすてきな白峰っ子たち！！Part④

いよいよ白山まつりが迫ってきました。白峰っ子たちは、桑島民謡保存会の皆様の演奏と歌にあわせて「いそぶし」を舞台上で披露します。そのために高学年が中心となり昼休みに自主練習を重ねています。「並んで〜」「芸2から4まで繰り返すよ」「やってみるから見て」等々、実に的確に声をかけ、見事に全体をまとめています。下学年の子どもたちも高学年の一生懸命さを真剣に受け取り、精一杯練習に励んでいます。全校が1つの目的に向かって一致団結して取り組む姿は最高にかっこいいです。地域の皆様、保護者の皆様、当日は元気いっぱい踊る子どもたちに温かな声援をお願いいたします。

